

自然しらべ 夏休みには仮面ライダーを探せ!

2007年4月号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

自然しらべ 夏休みには仮面ライダーを探せ!

2007年4月号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

第100号

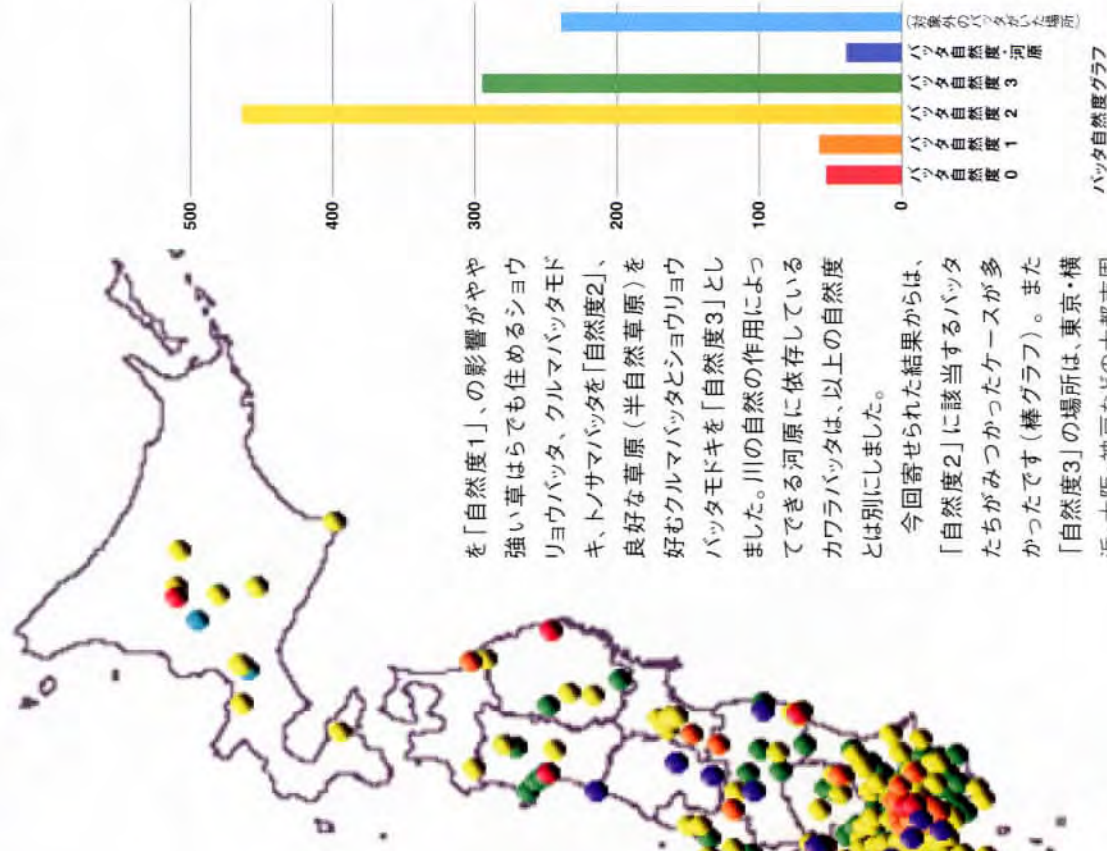
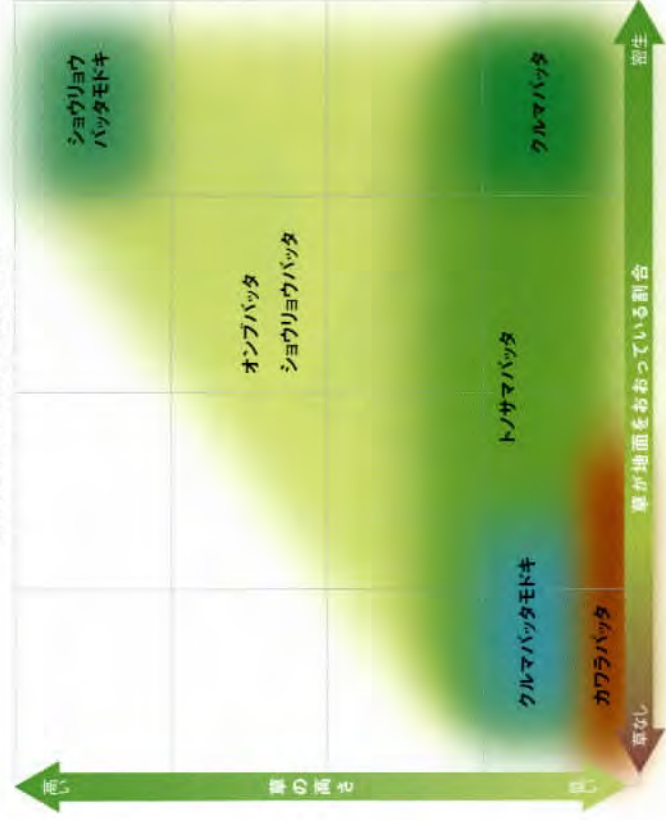
第100号

第100号

第100号

バッタから見えてくる草はらの「自然度」

植生からみたバッタのすみかの区分



を「自然度1」、の影響がやや強い草はらでも住めるショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、トノサマバッタを「自然度2」、良好な草原（半自然草原）を好むクルマバッタとショウリョウバッタモドキを「自然度3」としました。川の自然の作用によってできる河原に依存しているカワラバッタは、以上の自然度とは別にしました。

今回寄せられた結果からは、「自然度2」に該当するバッタたちがみつかったケースが多かったです（棒グラフ）。また「自然度3」の場所は、東京・横浜・大阪・神戸などの大都市周辺にもまだあることがわかりました（地図参照）。特殊な環境に住むカワラバッタは、中部地方を中心にして、おもに東北から近畿地方にかけて健在であることがわかりました（カワラバッタとしての報告された記録のなかには、別のバッタも含まれている可能性がありますが、ごく大まかにみると実際の分布域のようすが示されていると思います）。

以上のように今回の調査をとおして、バッタが住める環境が日本各地にまだまだ残っていることがわかりました。一方で、まったくみつからなかったという結果も寄せられています。

今 対象とした7種のバッタたちは、草の高さと、草が地面をおおっている程度とによって、大まかに住んでいる環境を区分することができます。

このようなバッタの特徴をとおして、「自然度」を考えました。餌の草が生えていればどこにでも住めるオンフバッタ

自然度	特徴	写真	生息地
0	バッタが草につからなかった場所	オンフバッタ 広葉の草はらがあればどこでも	カワラバッタ
1	バッタ自然度1 オンフバッタだけがいた場所	ショウリョウバッタ 草の高さは低め、広い草はらが好き	カワラバッタ
2	バッタ自然度2 トノサマバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキのどれかがいた場所	トノサマバッタ 草の高さは低め、広い草はらが好き	カワラバッタ
3	バッタ自然度3 ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、クルマバッタのどちらかがいた場所	クルマバッタモドキ まばらで低い草はらが好き	カワラバッタ
4	バッタ自然度4 ショウリョウハツタモドキ、クルマバッタモドキのどちらかが好き	ショウリョウハツタモドキ 丈が高く、密度の高い草はらが好き	カワラバッタ
5	バッタ自然度5 クルマバッタモドキ、クルマバッタモドキのどちらかが好き	クルマバッタモドキ 丈が高く、密度の高い草はらが好き	カワラバッタ
6	バッタ自然度6 カワラバッタ、カワラバッタ	カワラバッタ 石ころの河原が好き、日本だけにいる	カワラバッタ

バッタを呼び戻すには

参加したみなさんには、バッタを呼び戻すアイデアもお聞きしました。多かったのは、「草はらを増やす」と「農業をやめる」のふたつでした。以前には当たり前にあった「ただの原っぱ」が減ってしまい、バッタが見られなくなった

と感じる方も多かったです。草はらの管理に関するご意見も、多くいただきました。なかでも注目したいのは、「草刈りをしすぎると「草刈りをしなすぎると」いう両方の意見があったことです。

草はらは、日本では人が関わるることによってできることが多い環境です。どんな草を取り戻したいかによって、

自分たちのまちにどんな自然があるといいのか、バッタをとおして、その姿が少しでも具体化できるきっかけにしたいです。

- 今ある原っぱは残したい.....23件
- 里山風景を取りもどす.....10件
- 土と緑を多くする.....77件
- 「バッタ専用」の場所をつくる.....22件
- 草刈りをしすぎない.....42件
- 草原の維持には定期的に草刈り必要だ.....10件
- 芝生の公園より雑草のある草原にする.....71件
- 道路を土にする.....26件
- 開発をやめよう.....18件
- 農業をやたらにまかない.....77件
- 人工産卵を増やす.....5件

自然の楽しさを伝えたり、自然を好きになってもらう.....25件

その他、「ふえすぎてこまりますし.....どうしたらよいのでしょうか?」とか「草むらにゴミを捨てない」などの意見が寄せられました。